B 2　明治中期発行の女子雑誌における育児記事の動向

日本女大家政 ○加藤　晃
日本女大家政　大達弁久美子

目的および方法；明治期の児童観や育児法を明らかにしてゆくために，明治18年7月から明治37年2月までの20年間に526号が発行された女子雑誌を取上げ，この中で乳幼児や子育てかかわる記事の動向・内容などを検討した．

結果；① 18年から37年までの全期間を通して，乳幼児や子育て法に関する記事の取上げられ方は，年次による大きな偏りはみられなかったといえよう．発行号数に対する記事数の割合は，18年の45%が最も少く，26年の350%が最も多くなっており，大体各号に1～2篇の子どもに関する記事が取上げられていた．

② 記事内容は教訓的なものが多く，それは子育てにおいて母親の愛，聖明さ，努力などの大切さを強調したものであった．事例報告が目につき，とくに外国のジョン・エスレーの母といった賢母の紹介が多かった．

③ 実用記事はあまりとはいえなかったが，乳汁栄養，助産，疾病などが取上げられており，乳母確定局などは今日では理解できないような時代性をうかがうことができた．

④ この時期は学校教育が普及して行った時代で，学校教育に対する評論も多く，幼稚園設立の紹介記事も目につき，幼児教育や家庭教育と幼児教育の関係等についての記事は中期以後は多くなっていた．